

夕刊 警城時報

行發日七廿
印刷所 警城時報社
印刷部 警城時報社
發行所 警城時報社
電話 五〇九
平市田町(電五〇九)
院長 中野 應次

果して何人に決るか

市参事會員の補欠

二日の豫算市會で選舉

市参事會員馬目雅治氏の死去に因り、革新兩會が常に市會をリ、件後任参事會員の補欠選舉は、下の形であつたが新與會馬目氏、二日召集される豫算市會の會期の死去に依つて勢力は十四對十中に行はれるものと見られてゐる。四の極端といふ程となり、市會に、一昨年九月死去した市参事會員馬目氏に代り、市會に、市員根本品藏氏後任選舉の際には、限り十四對十三票と成つて市、革新會が川崎文治氏を擁して相會が反對に優位に置かれるに當策動したに拘らず、市會の則至つた、これが爲参事會員選舉に満性を保持する爲と道義的觀念當つても市會は微妙な動きを見、木光吉氏を當選せしめた關係もあり、今回も馬目氏の後任は野、崎派新與會内から選ばれるものと豫想されてゐる。

議案二十二件

来月二日午前十時召集される市會の議案は二十二件の多くに上つてゐるが主なるもの左の通りである。
△十四年度豫算△公益質屋豫算(繰越) △警防團定員及給與手當△参事會員補欠選舉△學務委員推薦△名譽職員表彰規程改正△名譽職員慰問規程△公會堂賣店設置△小學校採炭、湯本)
△三月二十一日江名小學校(豊間、鹿島、玉川、泉、小名濱、江名)
△三月二十二日植田小學校(田人、山田、渡邊、錦、昭和、人稱、植田、川部、勿來、大日本炭礦、勿來)

司法保護委員

きのふ公會堂で辭令傳達

刑余者に濫か保護の手をさし、のべる平、双葉兩保護區の司法保護委員辭令傳達式は二十六日午前十一時から平市公會堂で行はれた。

未入營補充兵査閲

三月十八日から執行

平市及び石城郡下の未入營補充學校父兄會總會は二十六日開き兵に對する指導査閲は本多彦役員改選の結果會長に川崎文治中佐により左記日割で執行され副會長に佐藤伊太郎氏當選(カッコン内は參集分會)
△三月十八日第一小學校(平第一、第二、第三、第四、第五、福島炭礦、夏井、鹿島飯野、赤井、小川)
△三月十九日好間小學校(三坂、永戸、好間、古河炭礦)
△三月二十日湯本小學校(入選野、上選野、警防、内郷、小野田炭礦、警城炭礦、入山、採炭、湯本)
△三月二十一日江名小學校(豊間、鹿島、玉川、泉、小名濱、江名)
△三月二十二日植田小學校(田人、山田、渡邊、錦、昭和、人稱、植田、川部、勿來、大日本炭礦、勿來)

玉川村忠魂祭

陸軍記念日に執行

陸軍記念日に執行する玉川村の招魂祭は例年四月二十七日に執行して来たが今年から三月十日の陸軍記念日に繰上げ執行することになり、祭典後縣社住吉神社で武運長久祈願祭を行ひ歸還兵奉告祭、武道大會を小野田炭礦、警城炭礦、入山、採炭、湯本)
△三月二十一日江名小學校(豊間、鹿島、玉川、泉、小名濱、江名)
△三月二十二日植田小學校(田人、山田、渡邊、錦、昭和、人稱、植田、川部、勿來、大日本炭礦、勿來)

軍馬忠魂除幕

玉川村ではかねて建立中であつた

軍馬忠魂除幕式は来月十日の陸軍記念日に執行する。玉川村ではかねて建立中であつた軍馬忠魂除幕式は来月十日の陸軍記念日に執行する。玉川村ではかねて建立中であつた軍馬忠魂除幕式は来月十日の陸軍記念日に執行する。

平商父兄會長

平商業演後、軍國の母を表彰

平商業演後、軍國の母を表彰する。平商業演後、軍國の母を表彰する。

玉川國婦總會

玉川村で總會を開き、作山美八氏の講話

玉川村で總會を開き、作山美八氏の講話する。玉川村で總會を開き、作山美八氏の講話する。

中野齒科

平市田町(電五〇九)
院長 中野 應次

労働者街に凱歌

純綿布の配給終る

職工の悪智慧

上海歸り患者から盗む

新瀉縣直江津町生れ市内堂ノ前二日三時頃頭火した、厚因は平製作所職工川崎定治(二六)は子供の弄火、損害三百圓。二十一日雲ころ南町松村病院に入院中の上海歸りの双葉郡木戸村岸本宣夫さんを訪れ、自分も近く上海へ行つて一働らきして来たいのだがあちらの景氣はどうです。などと話し込み岸本さんが病室を出た際にトランクから十圓を抜き取つて逃走したが二十六日平署に捕はれた、同人は去る一月中に起訴猶豫となつて釋放されたばかりのもの。

追善謠曲會

子供の弄火から

二十六日午後一時ごろ内郷村小平喜多流謠曲會主催の故山島地内、山下喜代美氏外三名所給與三郎、佐藤芳松、菅木利雄有の難木林から發火二町歩を燒三氏追善謠曲會は三月十九日午

水難救濟會出初式

大日本水難救濟會四倉支所の昭

大日本水難救濟會四倉支所の昭和十四年度出初式は二十六日午前十時から四倉港廣場に於て執行した。

久之濱豫算町會

双葉郡久之濱町の豫算町會は二

十七日から召集。警備委員會 平市警備委員會は二十七日午後一時から開いた。

大工の刃傷

就寝中ぐざり!

錦村大字中田大工菅野登四男方内弟子山内(二五)は二十六日夜主家の出産祝ひに御馳走になりその足で兄弟子江井武勇(二八)と植田町に出て數軒呑み歩いた末、些細のことから口論、江井にひどく面罵されたのを恨みその場はそのまゝ主家へ歸宅したが、同夜十時頃江井が就寝したのを見極め刃渡り八寸の短刀で江井の左腰部を突き刺し頸部の重傷を負はせて逃走。植田署では各地に手配加害者山内を嚴密に、一方被害者の江井は出血多量で生命危篤。

四倉の賭博

四倉町宇木町七三深津清馬(四

四倉町宇木町七三深津清馬(四七)方で二十五日午後一時半頃同町酒井徳之助、宇佐美定治、吉成吉一、菊地初之助、大浦村、鈴木留吉の六名が現金賭博開張中四倉署署原刑事に踏込まれ捕はれたが、留吉は現場より逃走し行衛を睡したので捜査中。

坑夫盗む

内郷村官澤、

警署坑夫新藤榮(一九)は去る二十日同僚大友寅雄のスコップとツルハシ價格五圓を盗み古物屋に賣却費消したこと發覺二十六日檢舉。

人市平事

○出生 胡摩澤鈴木兵七氏

女政子さん、南町佐藤定雄氏長女政子さん本籍紅葉町當時横濱市鶴見區潮田町永山勝助氏長男一郎君。◎婚姻 若手縣警備町阿部和雄氏(三四)北目町鈴木キキさん(三一)

天氣豫報

今晩は北東の風晴

明日は北東の風晴後曇

吾妻スキー行

松野尾生

さあ下りだ。野澤君は勇敢なスキーを手に一切経との靴と云ふ恵まれた日だらう。神のそばに立つて悠々と煙草た一切経と三、四十分たが、野澤君の足の豆に敬意を表して引返すことにする。少し逆に登つて夏道の家形山の

成長した娘から

搜索願ひ

中腹から、愈々先に登つた斜面の滑降開始だ。今迄は登山家だが、これからはスキーヤーの資格になる。八甲田山で鍛えた野澤君の技術は大したもの、巧みにボーゲンを描いて下つて行く。此の冬から初めた阿部君も魔王で受けた二高式訓練で相當な技術だ。僕に至つては、何事でもさうだが、スキーヤーの自惚れ位はつまみものはないとのこと、密かぬことにしよう。ともか

